

● 2008年
2月10日 (日)
AM / PM

分科会の名称

地域の森林に学ぶ環境教育の仕組み作り。

● 場所 研修室 4.

● 参加者 24人

● 実施者 矢島 規氏

9:00 ~ スタッフ紹介

9:15 ~ 自己紹介タイム

ほの
不精
(笑)

A3用紙氏名記入
どんな木のイメージですか？
を念めて紹介

10:00 ~ スライドを使って講演

10:50 ミニ休憩

11:00 ~ 後半戦講演

人間社会

人間の自分勝手なルールは
作られたが、自然や他の
動植物のことを考えない
社会ルールを作っ
ている。

落葉・工・米めがき

まじった落葉ポール作り。
葉の感触も分り、
おぼえの観察も出来る。

都市公園法があるため、
せめて自然に触れるチャン
スがある。生き物に触れられない
取れない。

遊園地と都市公園法は
ないから、触ったり、観察
出来る。

保護することは賛成!!
と言ってるから、自分の生活
スタイルを考えた方がいい人だ。

不
コビエや簡章、便利
な物、余分な包装。 ← 環境

自然に触れるには、
幼児～小学生のうち、
最初の手がかりがあるか
を設計! 遊園地から
良い。スロープに触れる
ことが出来る。

本を読くとより実際に見ると、
触るとの方が大切!!
昆虫の足や、木や花の細かい
部分の感触や匂いなどは
分らないから。

探し方や見るポイントが、最初
は分からない。→ 指導者(アドバイザー的)
な人を確保したい。

人工林の行方、 秋田スギ。

「自然更新」

ー地域の森林とー

「里山の今!」 照葉樹林化してある落葉広葉樹林

↓
温暖化のため、鳥や昆虫の種類も
減ってきている。

(例) 高山崎観音山

カッパ・セア道路 → アカマツ二次林。
京都の森 → ナラ杉山 → ナラ杉
への侵入 → 山形県など

松くい虫の被害

知取山・秋田スギ

・ 和歌山・秋田スギ → 松くい虫による
・ 株上更新 (切り落した株の切り口にはえる)
・ 伏条更新 (冬の間のみで地に落ちた)
・ 林道脇の金葉樹林の子供天国

・ 自神山地世界遺産

バチ林

・ さみまるスギ (高い木 56m)
・ シラオバ杉 → コスツカ
・ 小笠原母島

カシリムシの被害 → 秋田も、
↓
松にセシヤウが入る → 松が枯れる。カシリムシが
松の中へ
着いてくる。

パソコンで散布
図と他の生物を
死んでしまう。
かたい状態

(レポート: おじょう、有志)